

東

海

だ

よ

り

第20号

東海防衛支局広報

平成26年7月発行

〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目2番1号

電話：052-952-8212

<http://www.mod.go.jp/rdb/tokai/>



第20号の掲載内容

- ◆特集1 東海防衛支局の主要な業務 その2 ……2、3ページ
- ◆特集2 広報活動の記録 ……4、5ページ
- ◆支局短信 ……5 ページ
- ◆自衛隊の話題、地域の話題 ……6 ページ
- ◆編集後記 ……6 ページ

馬籠宿(まごめじゅく)の風景
(岐阜県中津川市)

特集1 ◇ 東海防衛支局の主要な業務 その2



東海エビ丸くん
(東海防衛支局マスコット)

今回は、支局装備課の業務を紹介します。
装備課においては、支局管轄区域内(愛知県、三重県)に所在する企業が製造する戦闘機やヘリコプター、対空／対艦ミサイル、小銃など、あらゆる種類の防衛装備品の調達及びその役務に係る監督・検査及び原価監査に関する業務を実施しています。

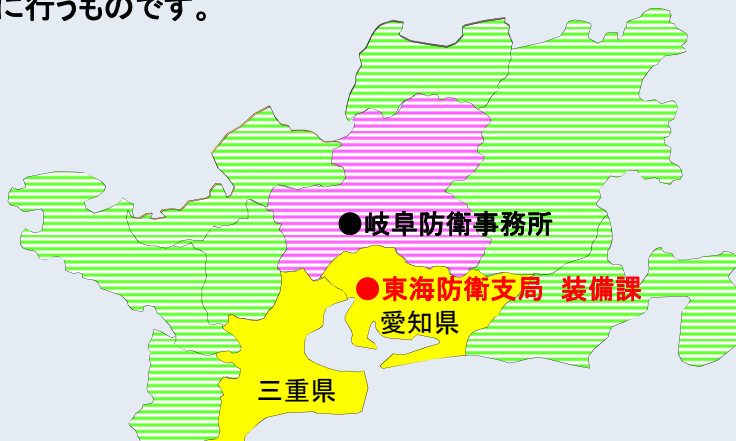
装備課には、課長以下、陸海空の自衛官と事務官等、約60名が在籍しており、日々、質の高い防衛装備品の調達、確保に努めています。

1 監督・検査業務

監督・検査は、契約の適正な履行を確保するための手段です。

(1) 監督は、通常、製造または役務の請負契約の履行過程において必要な立会い、工程管理、材料・部品等の審査や試験、各種生産管理活動の実施要領書や報告書の審査・承認等の方法により、製品が出来上がった後の最終的な検査では確認できない部分について、契約物品に対する要求事項が確実に具現化されるよう要時要点において製造工程等を確認していくものです。この監督行為によって、定められた納期までに要求事項を満足し、質の高い防衛装備品を確実に取得できることとなります。

(2) 検査は、契約履行の最終段階において、給付内容の適否及び給付の完了を確認するために行うものです。



支局装備課の管轄区域(対象企業:約50社)
(岐阜県は岐阜防衛事務所が管轄しています。)

◇ 東海防衛支局の主要な業務 その2

2 原価監査業務

原価監査は、契約相手方企業が契約履行のために支出または負担した費用が原価として妥当であるか否かを審査し、契約代金を確定するために実施している業務です。

原価監査の実施に当たっては、契約書に示された契約条項等(契約条項及び契約条項に添付された計算基準その他の契約関係書類)に基づき、契約相手方において発生した実際の価格に関する諸記録を調査し、必要に応じて事実を確認することにより、当該価格の適否を審査しています。

東海防衛支局装備課では、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊及び防衛省の技術研究開発機関である技術研究本部が要求する防衛装備品(開発中のものを含む)を扱っており、それらには以下のような装備品があります。



支援戦闘機 F-2



救難ヘリコプター UH-60J



地对空誘導弾 ペトリオット



地对艦誘導弾 SSM-1

特集2 広報活動の記録



海上自衛隊掃海艦「やえやま」



海上自衛隊掃海艦「つしま」

平成26年5月17日、18日
ふれあいフェスタ IN松阪港(三重地方協力本部主催)
来場者数:約6,200人



パンフレット等を配布する支局職員



支局職員に熱心に質問する来場者



PAC-3の展示説明



指揮通信車の体験試乗



地元クイーンと松阪市の
キャラクター「ちやちやも」



海自掃海艦の一般公開

【下段4枚の
写真提供:
三重地方協力
本部】

特集2 広報活動の記録

4月には、陸上自衛隊久居駐屯地開設62周年記念行事が行われ、また、5月には、ふれあいフェスタIN松阪港が行われました(それぞれ三重県所在)。

各会場では、各種装備品展示、体験搭乗など様々なイベントがあり、来場された方々は一日中楽しまれていました。

当支局職員は、各記念行事等において、防衛省のPRパンフレット、支局広報誌等の配布、「平成25年版防衛白書ダイジェスト」のパネル展示並びに「平成25年防衛省記録」のDVD上映などの広報活動を行いました。

平成26年4月20日

陸上自衛隊久居駐屯地開設62周年行事 来場者数： 約3,000人

パンフレットを配付する支局職員



パネル展示に見入る来場者



支局短信1

「ミーナ」、支局長に面会

4月に、愛知県の南知多町キャラクター「ミーナ」が支局を訪れ、佐藤隆章支局長と面会しました。今後、南知多町は、防災安全に関して支局との連携を深めていきたいとのことでした。



支局短信2

新支局次長 着任



平成26年3月に次長(装備担当)として着任しました。

多くの防衛産業が所在する東海地域において、東海防衛支局としての役割の一つである、支局が担任する各種装備品等の監督・検査、原価監査業務等を滞らせないように、努力したいと思っています。

また、歴史深いこの地域で、改めて学ぶことも多く、公私ともに充実した時間を過ごしていきたいと考えております。

【足立哲彦】

自衛隊の話題

ぎふ定期演奏会開催

5月31日(土)、長良川国際会議場において、自衛隊音楽隊第9回ぎふ定期演奏会(自衛隊岐阜地方協力本部創立60周年記念行事)が開催され、航空自衛隊中部航空音楽隊及び岐阜県立海津明誠高等学校吹奏楽部が出演しました。岐阜地本によれば、約1,500人の来場者があったとのことでした。【写真提供:岐阜地方協力本部】



地域の話

三岐鉄道北勢線開業100周年

三岐鉄道北勢線(西桑名～阿下喜[三重県桑名市、東員町、いなべ市])は、4月5日で開業100周年を迎えたとのこと。東海地域には、名古屋から日帰りのできるローカル線が多くありますが、この北勢線もその一つです。

車窓から眺める沿線の風景は、のどかで郷愁を感じさせるものですが、この路線がユニークなのは、全国でも珍しいナローゲージと呼ばれる軌間762mmの路線であることです。普通より小さな電車が田園を駆け抜ける姿は、何とも微笑ましかったです。



編集後記

晩冬のよく晴れた日、表紙にある馬籠宿を訪ねました。馬籠宿は、中山道69宿のうち、木曾11宿の南端にあり、文豪、島崎藤村の生地として、長編「夜明け前」の舞台として有名であります。ここは当時の宿場の面影を色濃く残しており、日本の原風景を感じさせるものとなっています。四季折々の表情があると思いますので、季節を違えてまた訪れることができると考えつつ、帰路につきました。(TK)